

---

# 卒業 -幼き日々-

ひまねこ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

卒業 - 幼き日々 -

### 【Nコード】

N6764Y

### 【作者名】

ひまねこ

### 【あらすじ】

たった数分でも、幼き少女にとっては大きな時間。揺れ動く少女の心を、短く綴った物語。

(前書き)

この作品は、私が小学校を卒業する直前に書いたものです。  
懐かしいと思いながらの投稿です\*

あまり、まとまりのない作品ですが・・・

そこは温かい目で読んでいただけたら幸いです(笑)

まだ暗い空を、窓から見上げる。

ゆっくりと、両耳にイヤホンを入れる。

「今人気の曲なんだよ！ 超良い歌だから聴いてみて！」  
昨日、仲の良い友達から、半ば無理矢理な感じで受け取ったCD。  
本当は音楽なんて聴きたくない気分なんだけど・・・。  
最近、なにをするにも心が浮ついて集中できない。  
なにもしようと思えないから、なにも変わらない毎日が過ぎる。  
だけど、なにも変わらない毎日は、確実にその日に向かって進んで  
る。

借りたCDをパソコンに入れて、再生ボタンを押す。

同時に、ゆるやかなメロディーが流れ始める。

前奏が終わり、フツと綺麗な声が聞こえる。

ドキッとするくらい優しい声だった。

- ねえ 懐かしいね -

- もう いくつ前になるかな -

- 校門入ってすぐに 大きなサクラの木があった -

- 生まれてから6度目の春 とても綺麗なサクラだったね -

入学式の頃の微かな思い出が蘇る。

沢山の人たちに拍手で迎えられ、とても嬉しかった。

もう6年も前のことだった。

- ねえ 懐かしいね -

- もう いくつ前になるかな -

- 朝の登校班 どちらの背が大きいか比べてた -

- 自分の方が小さいと 明日もやろうと言い張ったね -

毎朝の登校班を思い出す。

低学年の頃は、よく班の友達と背比べしてたなあ。

すごく懐かしいのに、なんだかつい最近のことみたい。

- ねえ 懐かしいね -

- もう いくつ前になるかな -

- 傍に居る ただ仲の良い友達だった -

- 気づかないうちに 本気で好きになってたんだ -

思い当たる男子が一人、頭に浮かぶ。

そう、ただの友達だったのになんでだろう。

本当に本気で好きになっていた。

- ねえ 懐かしいね -

- もう いくつ前になるかな -

- みんなで はしゃいで遊んだあの日 -

- どんな日でも いっぱい走り回ったね -

近所の子を思い出す。

中学は違うけど、ここで出来た初めての友達だった。

よく遊んだ、仲の良い友達。

卒業したら、今度いつちゃんと会えるんだろう。

寂しいな - - -。

いきなり、曲のメロディーが変わる。

- とても寂しいんだ -

- 今までの思い出が とても早く駆けていく -

- 長い時間たちが 一瞬で消えていく -

- 私はなにをしていたんだろう -
- この場所を出て なにが出来るんだろう -
- 遊んで 想って 伝えて 感じて -
- この場所を出てからは まだ分からない -
- それならあと少し -
- この場所できなにが出来るとしたら -

私は・・・。

気がつくまで泣いていた。

私は、この場所できなにをしていたんだろう。

私は、この場所できなにが出来るとしたら。

「わかんないよ」

分からない……。まだ分からない。でも同時に、  
なにかやらないと。そう思った。

きっと分かる日がくるから。

自分の手で、それを掴む日がくるから。

なにもしないなんて勿体無いことするのは、昨日まで。

暗い空に、ゆっくりと太陽が顔を出す。

「晴天だね。」

朝の目覚めですが、大きく鳴り響く。

卒業まで、あと少し。

(後書き)

ぐ、グダグダな感じでの終わりですが

小学生でも、悩むときは悩むものだということ。で。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました\*

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6764y/>

---

卒業 -幼き日々-

2011年11月20日18時27分発行